

KANAGAWA 2021 DESIGN

同じカタチにみえてもみんなカラーが違う。
人それぞれの輝く個性を生かす KANAGAWA



知事からのメッセージ

新型コロナウイルス感染症の拡大は、県民の皆様の生活や事業活動に深刻な影響を及ぼしています。

感染症に限らず台風や地震などの自然災害は市町村の区域を超えて大きな被害をもたらします。そうした災害時に住民のいのちと生活を支えるためには、広域自治体である県が、医療や産業、雇用など様々な分野で市町村と連携して対応することが必要です。

また、首都圏に位置し、約922万人の人口を擁する本県は、我が国が抱える少子高齢化や人口減少など、様々な課題先進県でもあります。こうした複雑化・多様化する課題を解決するには、個別の自治体の取組だけでなく、国や市町村とも連携協力しながら、広域的な観点と住民目線に立った取組が必要であり、本県が果たす役割は益々重要となってきています。チャレンジ精神あふれる方にとって働き甲斐のある仕事が神奈川県にはたくさんあります。共に県民の皆さんが笑顔で安心して暮らせる神奈川を創り上げていきましょう!



神奈川県知事 原 田 敏 博

KANAGAWA 2021 DESIGN

同じカタチにみえてもみんなカラーが違う。
人それぞれの輝く個性を生かす KANAGAWA

人は同じに見えても人それぞれが違う個性を持っていることを、いろいろなシーンであたたかい個性を発揮する「毛糸」をモチーフにして表現しました。「毛糸」は、そのままでもカタチ創ってもそれぞれに光り輝く個性があり、個々でも一緒になったときもそれぞれの存在感があることを表現しています。神奈川県は、そんな人たちの集まりです。

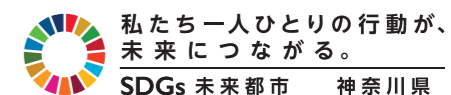
SDGsの取組

2015年9月、国連サミットにおいて、国際社会全体の目標として「持続可能な開発目標」、いわゆるSDGs (Sustainable Development Goals) が全会一致で採択されました。

このSDGsの理念は、本県が進めている「いのち輝く神奈川」の取組と軌を一にするものです。

こうした先進的な取組が評価され、2018年6月には全国でいち早く国の「SDGs未来都市」に選定されるとともに、2019年に続き、2020年7月にも国連主催の「SDGsハイレベル政治フォーラム2020」公式会合に招聘され、オンライン参加しました。

今後も神奈川県はSDGs最先進県として先頭を走っていきます。



神奈川県の総合計画 「かながわグランドデザイン」

総合計画とは、県政運営の総合的・基本的指針として、神奈川の将来のあるべき姿を描き、それに向けて県がどのような政策を展開するのか、県民の皆さんにお示しするものです。県では、この計画に基づいて様々な施策に取り組み、政策課題への対応を着実に進めています。



かながわグランドデザインの詳細は神奈川県ホームページをご覧ください。



基本理念

「いのち輝くマグネット神奈川」を実現する

神奈川の将来像

- ▶ 行ってみたい、住んでみたい、人を引きつける魅力あふれる神奈川
- ▶ いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川
- ▶ 県民総力戦で創る神奈川

めざすべき姿

～コミュニティの再生・活性化による笑いあふれる100歳時代～

- ▶ 未病を改善し健康長寿の神奈川
- ▶ 経済のエンジンによる活力あふれる神奈川
- ▶ 安全で安心してらせる神奈川
- ▶ ひとのチカラを最大限に生かす神奈川
- ▶ 地域の個性が輝き魅力あふれる神奈川

新規採用職員座談会

■現在担当している仕事を教えてください。

冠木 産業人材課で、技能振興の推進のために、外国人の技能実習生の技能検定に係る事務、技能に関するイベントの広報などの業務をしています。

小川 厚木土木事務所の河川砂防課で、河川・急傾斜・砂防に係る工事や維持管理を主に行っています。

奥田 畜産課で、法律に基づき検査結果の国への報告や、国内で発生した鳥インフルエンザ等の家畜衛生情報の発信などを行っています。



角田 障害サービス課で、障害児施設に入所している方の生活費の支払いや、障害福祉施設の整備に係る補助金業務等を担当しています。

■神奈川県職員になるまでの道のりを教えてください。

角田 地域のために中長期的な仕事がしたいと考え、公務員を目指すようになりました。そこから大学院のときに県庁のインターンに参加したことが決め手となり神奈川県を志望しました。

冠木 私は、以前民間企業で勤務していましたが、公務員の人事異動の制度を知り、いろいろな業務に携わることができる働き方が、自分に合っていると感じたことがきっかけでした。神奈川県は多様な地域性を持っているという魅力があり、幅広い業務がこなせると思い、県庁を志望しました。

小川 当初は大学院への進学を考えていたのですが、大学の教授からの薦めで公務員を目指したのがきっかけです。公務員の土木職として幅広い分野・業務に携われることに魅力を感じました。神奈川県を選んだ理由は、都会や

田舎、海や山があり、地域の魅力がたくさんあるので、より幅広い業務ができると思ったからです。

奥田 県外の大学に通っていたのですが、やはり地元的神奈川県で働きたいという思いが強くなり、神奈川県内の就職を考えました。最初は臨床獣医師の道も視野に入れていましたが、公務員獣医師であれば、様々な職場があり、幅広い業務に携わることができる点に魅力を感じ、県職員を希望しました。

■今の職場の雰囲気を教えてください。

奥田 公務員は、堅いイメージがあったのですが、皆さん朗らかで優しい人が多かったです。休み時間にも声をかけてもらい、優しい職場で周りに恵まれたなと思っています。

角田 うちの課の方は、タフで、ハートが熱く、障がいのある方のために奮闘されている方ばかりですね。みんな和気あいあいとした雰囲気です。仕事をしながら疑問に思ったことは質問して答えていただける環境なのでとても有り難いです。



冠木 前職のときは、業務の関係上、一人で抱えることもあったのですが、現在の職場は前任の先輩が丁寧に仕事を教えてくれますし、仕事で悩んだときも「どうしたの?」と声をかけてもらうなど、周囲に目を向けてくれるフォロー体制が充実していると感じました。

小川 職場の方には、普段から丁寧に仕事を教えてもらっていて、自分が工事監督員として現場に行く際も、上司やメンター（※職務の内外を問わない相談者として新規採用職員1人に対し1人付く先輩職員）の方などに同席いた



厚木土木事務所(総合土木)
小川 峻太郎 技師

一緒にがんばりましょう!

産業人材課(行政)
冠木 綾香 主事

畜産課(獣医師)
奥田 遥 技師

障害サービス課(行政)
角田 昌隆 主事

き、アドバイスを頂きながら仕事を進めることができている。今はコロナがあって難しいのですが、以前は昼休みにフットサルとかバレーボールをしたり、夜は飲み会をしたりしていたので、仕事もプライベートも仲のいい職場だなと思っています。

■入庁してからやりがいを感じたことは何ですか。

小川 入庁した当初は工事内容を理解することや設計システムの操作等で苦労していました。また、実際に工事を行う際も、かなり責任のある仕事だなと感じ、大変なことも多かったのですが、担当した工事が完成して、自分が設計したものが目に見えてできたときに、県民の方のために貢献できたなと実感します。



奥田 今の部署ではほとんど事務仕事を中心で、実際に県民の方と関わる機会は

あまりありませんが、鳥インフルエンザ等が発生したときには防疫対策を中心に行うこととなるので、県全体の畜産を守るために働くというやりがいがあります。また、担当業務の問合せにうまく対応でき、相手の方から感謝の言葉を頂いたときはとても嬉しかったです。



角田 障害福祉施設に対しての支払業務は、支払が滞ってしまうと入所者の生活に大きな影響を与えてしまうため、責任が重い仕事だと感じています。一方、毎月の業務を終えた後、「今月もその方の生活を守ることができた」という達成感はその分大きいです。

冠木 自分が担当していた技能振興イベントは中止になってしまいましたが、他主催の技能競技大会を出張で見に行った際に、出場者の技能に対する思いを間近に感じることができ、とても刺激を受けました。間接的ではあ

りますが、自分が担当しているものが大きなことで、やりがいのあることなのだと感じました。

■休暇の取得や働き方(残業・テレワーク等)はどうか。

角田 普段は結構業務が多く、遅くなってしまうときはありますが、上司から業務負担などを気にかけていただいたり、休暇についても休めるときは休みなさいといった話はしてもらっています。テレワークについては個人情報扱う業務の場合はなかなか難しいですが、例えば資料の読み込みやオンライン研修などは、積極的にテレワークを利用することができます。



冠木 休みは取りやすい雰囲気なので、自分の業務とのバランスを見ながら取得できる環境です。私個人もこれから仕事のペースが分かってくればもっと休暇が取れるかなと思います。テレワークは私も個人情報等を扱っている関係で難しいところもありますが、それ以外の業務では周りの方と交代で実施に取り組んでいます。



小川 河川の業務なので、工事を行う時期はそれなりに忙しいのですが、それ以外の時期については比較的残業も少ないです。そのため、工事のない時期は休みも取りやすいです。
奥田 私も休みは取りやすい環境だと思います。小さいお子さんがいる先輩などは、お子さんの体調が悪いときは

休んだり、場合によってはテレワークをしたりとか、柔軟で動きやすい環境だと思います。

■最後に、受験者に向けたメッセージをお願いします。

角田 学業と就活を両立するのはとても大変だと思いますが、それを乗り越えた経験というのは今後の仕事でも役立つと思うので、ぜひ一生懸命悔いの残らないように頑張ってください。一緒に働けることを楽しみにしています。

冠木 勉強でいっぱいになりがちだと思いますが、一番は「何のために神奈川県で働きたいのか」というところを明確にして、その気持ちを強く持つことが大事だと思います。その気持ちを大切に頑張ってください。



小川 自分は大学4年間で部活もやりつつ、試験に合格することができたので、自分の勉強とやりたいことのメリハリをつけることが合格への近道だと思います。一緒に働ける人がたくさん増えてくれたら嬉しいです。



奥田 勉強が煮詰まってもなかなかリフレッシュができないなど、苦勞が多いと思うのですが、やりがいのある仕事、働きやすい職場であると思うので、県職員になることをモチベーションに頑張っていたいただければと思います。
一同) 私たちとぜひ一緒に働きましょう!

職種紹介

神奈川県的主要な職種について、
各職種の職員からのメッセージとともに
紹介しています。
多岐にわたる県の仕事を、
各分野のエキスパート達が支えています。

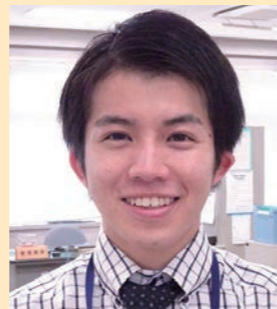
KANAGAWA 2021 DESIGN

同じカタチにみえてもみんなカラーが違う。
人それぞれの輝く個性を生かす KANAGAWA

行政

主な配属先：
知事部局、企業庁、教育委員会などの本庁機関・出先機関

企画計画、広報、広聴、調査研究、指導育成、許認可、国・市
町村との連絡調整、県税の賦課徴収などの仕事のほか、予
算決算経理、人事労務など。



神奈川県税事務所
大庭 寛貴 主事

▼これまでで印象深かった仕事

特に印象に残っているのが、資本金が1億円を超える大法人が
正しく事業税を申告しているかを調査するため、先輩と共に初
めて法人の事務所に伺って調査を進めたときのことです。
和やかな雰囲気の中、先輩と法人の担当者がスムーズにやり
取りをしながら調査を進らせていく様子を見て、先輩の仕
事の進め方だけでなく、法人の協力が欠かせない業務だとい
うことを実体験として学びました。

▼現在の職務内容、仕事のやりがいなど

主な業務は、資本金が1億円を超える大法人の調査です。専門
性が高く、調査に必要な知識や方法を身につけるのは大変です
が、先輩や上司と常に協力し情報交換をしながら業務を遂行す
る中で、必要な知識や方法を学ぶことができます。
不安もありましたが、協力し合える環境が整っていたことで、
日々、自分の実力が上がっていき、調査もスムーズに行えるよ
うになりました。さらに、法人の担当者の方々や接客の中で、相手
に分かりやすい説明を心掛けるうちに、自然と県民目線の説
明が身につきました。

▼神奈川県職員を目指す方へ

就職活動等大変な状況だと思いますが、皆さんと一緒に、こ
の苦境を乗り越え、神奈川県をさらに良くしていける日を楽
しみにしております。

農政技術(森林)

主な配属先：
水源環境保全課、森林再生課、自然環境保全センター、地域県政総
合センターなど

森林・林業施策の企画・立案、森林整備、治山事業、林道整
備、林業技術の普及、林業労働力の育成・確保、野生鳥獣の
保護管理、県産木材の利用促進など。



自然環境保全センター
野口 夏実 技師

▼これまでで印象深かった仕事

令和元年の台風19号により被災した林道の復旧業務が特に印象
に残っています。被災箇所には車でアクセスすることができない
ため、崩落土の上や壊れた道の脇などを歩いて現場に向かい、復
旧に向けた調査や設計書の作成に励みました。被害の数も多い
上、それぞれに適切かつ迅速な対応が求められる大変な仕事で
したが、実際に自分たちの目で被災した現場を見ているからこそ、
熱意を持ち、団結して業務に取り組むことができました。

▼現在の職務内容、仕事のやりがいなど

現在、林道の開設工事を担当しています。道を作る仕事と聞くと、
森林職のイメージとは少し離れているように思われますが、
林道整備は林業経営や森林整備事業等を行う上で基盤となる
とても重要な業務です。自分が担当した林道が完成し初めて通
行したときは、元の険しい斜面を歩いていた頃を思い出し、この
道がこれから多くの場面で役に立ち、人を助けることになるの
だと感激しました。
森林・林業との関わり方は多岐にわたりますが、どの業務も森林
そのものや人々の生活にとって大きな意義のある仕事です。

▼神奈川県職員を目指す方へ

様々な角度から神奈川県の森林の在り方を考え、幅広い業
務に携わることができるのが魅力です。就職活動頑張って
ください!

総合土木

主な配属先：
農地課、漁港事務所、県土整備局各課、土木事務所、地域県政総合セ
ンター、企業局各課、水道営業所、ダム管理事務所など

社会資本(道路、公園、堤防、港湾、農業生産基盤、上下水
道、ダムなど)の整備・維持管理についての企画・計画から工
事設計・積算、地元調整、都市計画に対する調査検討、津
波等の防災対策など。



横須賀土木事務所
横山 聡之 主査

▼これまでで印象深かった仕事

台風による大雨で被災した河川護岸を復旧する仕事です。通常
業務も行いながら、被災現場の調査、測量、工事設計までを済
ませ、被災から2か月後には国の査定を受けなければならない
仕事でした。当時は入庁してまもなく、大変さもありましたが、
上司から「こういうときは土木の力の見せ所だから、頑張ろう」と
言われたことを今もまだ覚えています。県土木職の仕事のやり
がいを教えていただいた業務でした。

▼現在の職務内容、仕事のやりがいなど

三浦縦貫道路という横須賀市と三浦市を結ぶ幹線道路を整備
する事業に携わっています。工事発注や監督業務だけでなく、
地元や関係者の方との調整を行い工程に支障が出ないように
するなど、スケジュールや予算を頭に入れながら事業全体のマ
ネジメントを行う必要があります。苦勞も多いですが、その分、
職場や工事を行う業者の方、みんなで力を合わせて完成させた
道路が、供用を開始したときの感動はひとしおです。一生懸命
自分で考え調整したことを現場に反映し、残すことのできるやり
がいのある仕事だと思います。

▼神奈川県職員を目指す方へ

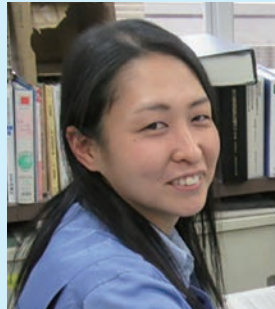
計画だけでなく、工事だけでもなく、事業全体に携わること
ができる仕事です。神奈川県はフィールドも山、川、海と多
岐にわたります。ぜひ一緒に働きましょう!

電気

主な配属先：

庁舎管理課、営繕計画課、流域下水道整備事務所、住宅営繕事務所、発電課、浄水場、発電総合制御所、発電管理事務所、ダム管理事務所など

県有施設や流域下水道事業における電気設備工事の設計・積算、安全で良質な水の安定供給やエネルギー供給を通じた県民のライフラインを支える仕事など。



相模川水系ダム管理事務所
今野 千春 主任技師

▼これまでで印象深かった仕事

採用後、水力発電所の保守点検を行う部署に配属されました。水力発電所の機器を自分たちで点検するため、関係部署との調整や水力発電所を停止させるための手順書を作成し、点検手順も確認して点検に臨みました。しかし、想定どおりに機器が動作せず困っていたとき、先輩と一緒に原因を調査してくれて、無事に点検を終えることができました。優しく頼もしい先輩に恵まれたことに感謝しています。

▼現在の職務内容、仕事のやりがいなど

相模川水系ダム管理事務所では、城山ダムや相模ダム、寒川取水堰など、相模川水系にあるダムや堰の管理業務を行っています。水道水をはじめ、農業用水や工業用の水は主に川の水を利用するため、不足することがないように河川の水を貯留したり、大雨や台風ときは河川の氾濫を防ぐために放流量の調整を行ったりします。私が担当している業務は、ダムコンと呼ばれるダム管理用制御処理設備や通信観測設備等ダムの運用に欠かせない設備の維持管理です。日々の業務が人々の暮らしの安全を支えていることに大きな責任とやりがいを感じます。

▼神奈川県職員を目指す方へ

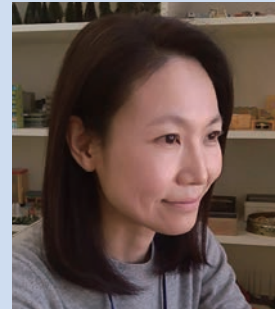
ダムや浄水場、水力発電所等にご興味のある方、また、子育てに関して配慮のある職場ですので、子育てしながら仕事をしたい方は、ぜひ挑戦してみてください。

福祉職

主な配属先：

子ども家庭課、児童相談所、児童福祉施設、女性相談所、障害サービス課、生活援護課、障害者支援施設、保健福祉事務所など

生活保護・精神保健福祉・児童虐待のケースワーク、県立福祉施設における専門性の高い介護を伴う生活支援の提供、福祉施策の企画・運営など。



平塚児童相談所
小笠原 知子 主査

▼これまでで印象深かった仕事

ある子どもとの出会いで、なかなか面接室にも来てもらえず、来てくれても話そうとしてくれないなど、話ができる関係になるまで長い期間がかかったという経験をしました。しかし、別れの日にその子どもから手紙をもらい、これまでの経過をその子どもなりに振り返りながら、その時々気持ちが書かれていて、驚きと同時にとても感動したことを覚えています。どのようなことがあっても子どもたちの持っている力を信じ続けることが大切だと教えてもらいました。

▼現在の職務内容、仕事のやりがいなど

児童心理司として、18歳までの子どもたちに心理検査等を行い、子どもを理解して適切な支援を考え、心理面接をしています。様々な事情を抱えた子どもたちの背景や気持ちを思うと辛くなったり、どうすべきなのか思い悩むこともありますが、そのような子どもたちの成長を見られることがこの仕事の一番の魅力だと思っています。また、どんなに大変なことがあっても一人で抱えることなく、職場や関係機関の方々と連携し、お互いに支え合いながら続けていける仕事です。

▼神奈川県職員を目指す方へ

家族や社会が多様化し、より多角的なものの見方や考え方が必要となっています。それらを一緒に考えてくださる方の入庁をお待ちしています。

獣医師

主な配属先：

畜産課、畜産技術センター、家畜保健衛生所、生活衛生課、衛生研究所、保健福祉事務所、食肉衛生検査所、動物愛護センターなど

畜産業の振興や家畜衛生の向上及び家畜伝染病の予防、食の安全・安心の確保や衛生的な生活環境の確保、動物の愛護など。



生活衛生課
坂上 貴之 主査

▼神奈川県を志望した理由

大学卒業後は動物病院で犬猫の診療を行っていましたが、獣医師の知識や技術を生かしながら、多くの人の健康や生活の向上に役立てる仕事として公務員獣医師に興味を持ち、志望しました。

▼公務員としての「獣医師」の魅力

公務員獣医師には多様な業務があり、食品衛生、動物愛護、家畜衛生など幅広く活躍しています。

私は生活衛生課に所属し、動物愛護管理に関する業務を行っており、県民の皆さんの声を聞きながら、人と動物の調和のとれた社会の実現に向け仕事をしています。また、これまでに食肉衛生検査所での検査業務や、保健福祉事務所での飲食店の調査なども経験しました。このように獣医師の幅広い知識や技術を生かしながら、県民の皆さんの健康や生活の向上に役立てることが大きな魅力です。

▼神奈川県職員を目指す方へ

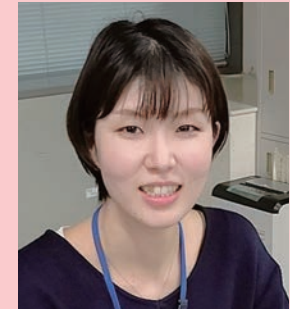
獣医師の知識や技術を生かしながら活躍できる仕事です。ぜひ一緒に働きましょう。

保健師

主な配属先：

児童相談所、健康増進課、保健福祉事務所など

感染症・精神保健福祉・難病・子どもの慢性疾患の相談・訪問などの専門的な保健指導、健康危機管理や地域のケアシステムの構築など広域的な課題に対する市町村・関係機関と連携した取組、児童相談所での保護者への相談支援や児童の保健指導など。



小田原保健福祉事務所
實方 千帆 技師

▼これまでで印象深かった仕事

「あなたに看てもらえてよかった。これからも治療頑張ります。」と結核の患者さんから言われたことは今でも印象的で、私の保健師としての原動力にもなっています。以前結核業務を担当していたとき、入院適応の外国籍の患者さんと関わるがありました。長期にわたる入院生活や自国との治療方法・法律の違いから、入院中大変塞ぎ込んでおり、面会に行くといつも涙ながらに辛い心境を話してくれました。退院後も薬の確認等で長期にわたって関わったことがとても印象に残っています。

▼現在の職務内容、仕事のやりがいなど

現在は、市町の保健師との連携、業務の調整、職域分野においての仕事を行っています。直接、患者さんと関わる機会が少ない所属ではありますが、個人への直接的な支援だけでなく、地域の支援という広い視点で関わることもでき、とてもやりがいを感じています。県の保健師の魅力は、いろいろな地域の方と関わるができることです。地域により特色も異なり、多くの学びを得ながら、住民や市町の保健師と新しい関係性を築くことができることも魅力の一つだと思います。

▼神奈川県職員を目指す方へ

行政の保健師は多様な人と関わりながら、自分自身もたくさんの方の学び、成長にもつながります。そんな魅力的な神奈川県保健師と一緒に働いてみませんか。

農政技術(農業)

主な配属先：
農政課、農業振興課、農業技術センター、かながわ農業アカデミー、地域県政総合センターなど
都市農業を持続的に発展させるための施策の企画・立案、地域の特性を生かした高品質な農産物(耕種作物)を生産する産地の育成、新規就農の支援、県内の農産物(耕種作物)の普及・PRを通じた地産地消の推進など。

農業技術センター足柄地区事務所
川田 祐輔 技師



研究・普及・行政といった様々な面から神奈川県農業のために日々邁進しています。神奈川県農業の発展のために一緒に頑張りたいです。

環境技術(旧試験区分名:化学)

主な配属先：消防保安課、環境計画課、大気水質課、資源循環推進課、水源環境保全課、下水道課、環境科学センター、地域県政総合センター、温泉地学研究所、浄水場、水道水質センターなど
法令等に基づく工場・事業場等の許認可指導、廃棄物の適正処理に関する指導、高圧ガス等による災害防止に向けた保安指導、環境汚染の実態説明等の調査・研究など。

県西地域県政総合センター
水上 眞琴 技師



業務は多岐にわたり、神奈川県内の生活環境を守るやりがいがある仕事です。共に働ける日を楽しみにしています。

司書A

主な配属先：
県立図書館、県立川崎図書館、県立学校など
県立の図書館、県立学校の図書館における資料の選定・収集・整理、図書館資料の貸出しやレファレンスサービス、利用しやすいレイアウトの作成など、図書館の整備・運営。学校司書は、生徒への図書館活用方法の助言、図書紹介による読書活動の推進など、生徒が自ら調べ、自ら考える力を育むという役割も担う。

相模原総合高等学校
河村 知佳 学校司書



県立図書館だけでなく県立学校の図書館にも配属の可能性があり、司書として様々な経験を積むことができます!

水産

主な配属先：
水産課、水産技術センター、水産技術センター内水面試験場、水産技術センター相模湾試験場、地域県政総合センターなど
水産振興施策の企画・立案、水産資源管理や栽培漁業推進、漁業調整・取締り、漁協の指導、漁業就労支援、海や河川等の水域環境の保全と再生、水産資源の持続的利用の調査研究、魅力的な水産物の流通加工の開発普及など。

水産技術センター
赤田 英之 技師



水産職は業界との距離が近く、幅広い仕事に携わることができる魅力ある職種です。ぜひ一緒に水産業を盛り上げていきましょう。

建設技術(建築)

主な配属先：
都市計画課、住宅計画課、建築指導課、建築安全課、営繕計画課、土木事務所、住宅営繕事務所など
都市計画に関する調査検討、住宅政策の企画・調整、建築確認申請・開発許可の指導及び審査、建築違反の取締り、学校・県営住宅等の県有施設の整備、修繕及び長寿命化の企画・計画、設計・積算など。

県西土木事務所
田中 美有 技師



建築職として、許認可、住宅計画、都市計画や営繕など幅広い分野で活躍できます。皆さんの入庁を心待ちにしています!

公立小中学校等事務

主な配属先：
県内(横浜市、川崎市及び相模原市を除く)の市町村立小・中学校など ※市町村職員としての採用となります
教職員の給与支払事務、教材などの購入や教育施設の維持などの学校運営を支える仕事。

綾瀬市立綾西小学校
葛西 ひなよ 事務主事



先生方との連携、子どもたちとのふれあいを通じ、「この職種だからこそ」と感じられる場面がたくさんあります。とてもやりがいのある仕事です!

機械

主な配属先：
庁舎管理課、営繕計画課、流域下水道整備事務所、住宅営繕事務所、浄水場、ダム管理事務所など
県有施設や流域下水道事業における機械設備工事の設計・積算、浄水場及びダム施設の設備管理や工事監督、保安点検を通じた県民のライフラインを支える仕事など。

寒川浄水場
山本 英明 主査



県民の生活を支える重要なインフラ設備に関わることで、やりがいを感じます。ぜひ一緒に神奈川県を魅力ある県にしていきたいです。

栄養士

主な配属先：
県内(横浜市、川崎市及び相模原市を除く)の市町村立小・中学校など、共同調理場、県立特別支援学校
※配属先が市町村立学校及び共同調理場の場合は市町村の職員となります
給食の献立作成及び調理に関する指導・助言、子どもたちの健康管理の栄養面からのサポートなど。

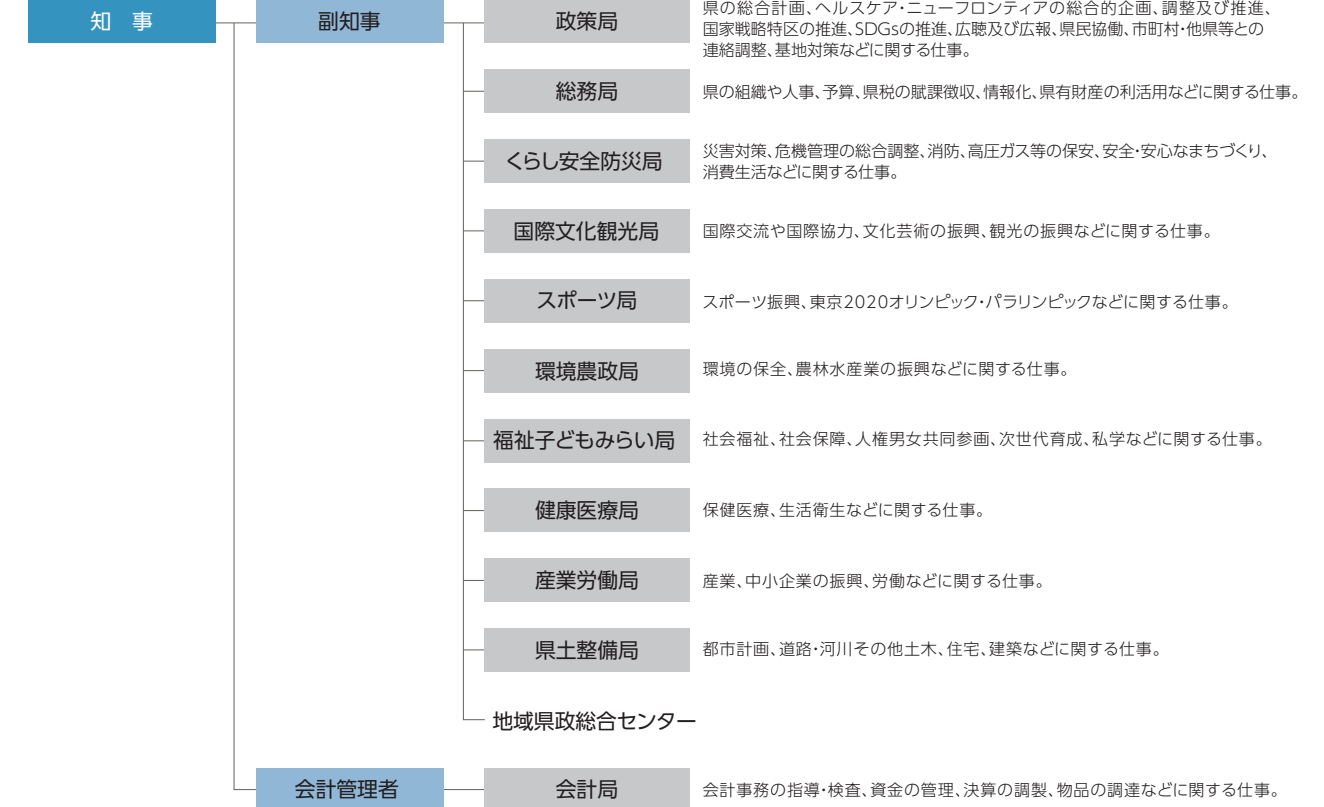
平塚市立平塚小学校
浅倉 美希 技師



学校栄養職員は児童・生徒の「おいしい」という声を直接聞け、責任とやりがいのある仕事です。また給食を通して成長に大きく関われる点も魅力です。

神奈川県の組織

知事部局



企業庁

議会

教育委員会

人事委員会

監査委員

労働委員会

選挙管理委員会

収用委員会

神奈川海区漁業調整委員会

内水面漁場管理委員会

公安委員会



※配属先名称は令和2年度のもので、
※主な配属先はこれまでに各職種職員が配属された所属を記載しています。令和3年度職員募集に係る配属先については、受験案内をご確認ください。
※その他の職種紹介は職員採用ホームページをご覧ください。各職種について詳しく紹介しています。



ともに生きる社会の実現に向けて

「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念を広め、障がいへの理解を促進するとともに、ともに生きる社会の実現に向けて、イベントの開催や動画による普及啓発、県内企業等とのコラボレーションなど、様々な取組を行っています。



ある1日のスケジュール(時差出勤)

9:00	出勤、メール確認
10:00	追伸式関係課打合せ
10:45	午後の関係者打合せで使用する資料作成
12:00	昼休み
13:00	課内で調整状況共有のための打合せ
14:00	会場下見を兼ねた関係者との打合せのため出張
15:00	会場下見
16:00	委託業者や共催者等との打合せ
17:45	退庁

共生社会推進課

伊藤 貴幸 主任主事(H24年入庁・行政)

▼憲章の理念を広めるために

私は、主に県立の障害者支援施設「津久井やまゆり園」において平成28年7月に発生した事件の追悼式を担当しています。また、障がいの有無に関わらず、パラスポーツやアートなど、同じ体験を共有し、ともに楽しむことを通じて、「ともに生きる社会」を自分の身近に考えることを目指すイベントの業務なども担当しており、年間を通じて憲章の理念の普及を行っています。

▼担当者としてのやりがい

事業を実施する際には、多くの関係者がそれぞれの強い思いを持って参加しているため、調整作業は大変ですが、苦労したもののほどその達成感は格別なものがあります。また、知事との打合せに同席することも多く、担当とし



て知事に説明する際にはとても緊張したことを今でも覚えています(笑)。プレッシャーに負けてしまいそうなきもりましたが、周りのグループ員や所属全体でサポートしていただき、なんとか乗り越えることができました。

▼神奈川県職員を目指す方へ

県の仕事の魅力は、地道な仕事から社会問題として取り上げられるような仕事まで幅広く活躍の場が広がっていることだと思います。神奈川県をより良くしたい!とチャレンジ精神溢れるそのあなた!ぜひ県職員になって、私たちとともに失敗を恐れず、たくさんチャレンジしていきましょう。

県民目線の行政をめざして



SDGs推進課
川口 真央 主任主事

H22	企業庁利水課
H25	神奈川県税事務所
H28	施設整備課
R1	東京海上日動火災保険株式会社 へ研修派遣
R2	現所属

ある1日のスケジュール

8:30	出勤、メール確認
10:00	事業者との打合せのため出張
12:00	昼休み
13:00	書類作成
14:00	事業者とのオンライン会議
15:30	書類作成
16:00	庁内関係所属との打合せ
17:15	退庁

▼入庁から今までの仕事

最初に配属された企業庁利水課ではダム貯水池の水運用に携わったほか、東日本大震災の際には、被災地での応急給水も経験しました。給水活動を行う我々に住民の皆様から温かい言葉をいただき、公務員としてのやりがいを感じることができました。

その後、県税事務所では滞納税金の徴収、施設整備課では県庁舎の地震・津波対策工事に携わりました。それぞれ、税金の重みを考える契機となったり、数年をかけた大がかりなプロジェクトを担当したり、貴重な経験となっています。それから1年間民間企業に派遣され、現在はSDGs推進課で未病関連の商品やサービスの実証事業(神奈川県-BYOリビングラボ)の支援をしています。県民の方々が安心して未病改善に取り組むことができ、未病産業が持続的に発展する社会・経済の創出につながるよう、今後も取り組んでいきます。

▼民間派遣研修を通じて学んだこと

勤務を重ねていく中で、県と企業との連携に関心を持つようになりました。そこで県側の視点だけではなく、企業側の視点を学びたいと思い民間派遣研修を希望しました。

研修中は、損害保険の法人マーケット開拓を支援するために、企画書の作成や研修の実施、営業活動を見る化する取組などに携わりました。また、災害への備えをテーマに学校へ出前授業を行い、県の農地課と連携した農業体験等のCSR活動にも参加しました。

最近では、環境問題や社会貢献に取り組む企業が増えており、企業側にも地域と一緒に成長していくという考えがあります。県の様々な課題の解決に向けて、県と民間企業がさらに連携しやすい体制づくりが必要だと感じています。また、企業が大事にする「お客様目線」には強く心を打たれました。企業が顧客のニーズに寄り添う姿には見習うべき点があります。「県民目線」に立った行政を目指すため、県民の皆さんと容易にコミュニケーションできるような、風通しのよい県庁にしていきたいと考えています。

▼神奈川県職員を目指す方へ

県職員の仕事は社会課題と向き合う仕事です。目の前にある社会課題を解決することで、一歩ずつより良い未来に近づくことができます。様々な業務に取り組む中で、きっと皆さん自身の働きがいも見つけられると思います。より良い未来の実現を目指して、一緒にチャレンジしていきましょう!

個性輝く取組

先輩職員からのメッセージ

安心して妊娠・出産・育児ができる環境づくりを目指して

慢性疾患の子どもを抱えている家庭へ訪問し保健指導を行うなど、個人への直接的な支援のほか、広域的・専門的な立場から、市町村や関係機関と連携して地域の支援体制の整備や課題解決への対応に取り組み、県民の皆さんが安心して妊娠・出産・育児ができる環境づくりを目指しています。



ある1日のスケジュール
(育児部分休業取得中)

8:30	出勤、メール確認
10:00	家庭訪問
12:00	昼休み
13:00	事業打合せ
15:00	事務処理・報告書作成
16:15	退庁

厚木保健福祉事務所大和センター

浅岡 やすか 主任技師(H24年入庁・保健師)

▼本当に必要な支援とは・・・

現在、母子保健を担当しており、慢性疾患をお持ちのお子さんやそのご家族の支援を中心とした仕事を行っています。様々な不安や悩みを抱えるご家族に寄り添い支援をしていく中で、すべてを整えることだけが支援ではないことを知りました。お子さんを取り巻く状況に応じた適切な支援が提供できるよう、「本当に必要な支援とは何か」を常に意識しながら、日々の業務に励んでいます。

▼担当者としてのやりがい

慢性疾患をお持ちのお子さんが病院からご自宅での生活に移行するときは、切れ目のない支援体制を構築するため、退院前から関係機関と連携を図っています。退



院後、お子さんが成長していく姿をご家族と一緒に見守り、共有できるところにやりがいを感じます。ご家族から「悩みがあるので話を聞いてほしい」などと連絡をいただけたときは「支援者の一人として認めてもらったのかな」と嬉しく思います。

▼神奈川県職員を目指す方へ

保健師の業務は個人への直接的な支援だけでなく、地域の支援体制整備や地域課題解決に向けた施策づくりなど多岐にわたります。個人への直接的な支援だけを見ても何一つとして同じケースはないため、臨機応変に対応する柔軟性が求められるなど大変な面もありますが、気軽に相談できる経験豊富な先輩方もたくさんいます。様々な業務経験を通して自分自身も成長できる魅力的な職場ですので、ぜひチャレンジしてください。皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

自分らしく輝き続ける



医療危機対策本部室
埋橋 美穂
医療危機対策管理担当課長

H7	企業庁水道局業務課
※H7	結婚
H10	県央地域行政センター県民消費生活課
※H12	長女出産
H13	統計課
H17	広報県民課
H21	青少年課
H24	県立病院課(H27からグループリーダー)
H30	県立病院課(課長代理)
R2.4	健康増進課(未病対策担当課長)
R2.8	現所属

ある1日のスケジュール

8:30	出勤、メール確認
9:30	新型コロナウイルス対策リーダーミーティング
10:30	予算関連打合せ
11:15	議会関連打合せ
12:00	昼休み
13:00	新型コロナ対策庁内会議
14:30	関係団体の会議出席(出張)
16:00	書類作成
17:15	退庁

▼入庁から今までの仕事

大学卒業後、広告代理店、青年海外協力隊でのボランティアを経て、「人の役に立ちたい」との思いから県に入りました。キャリア形成の中で大きな転機となったのは、グループリーダーとなったときです。自分だけが頑張るのではなく、皆に力を発揮してもらうために、グループ員一人ひとりの能力や個性を最大限に生かしてチームをまとめるというのは、仕事に対する視点や発想が大きく変わるきっかけとなりました。現在は、新型コロナウイルス感染症対策を行う部署にいますが、医療はもとより、経済や県民生活への影響といった点で、これまで経験したことのない未曾有の事態となっています。

一方、今こそ、公務員として力を発揮する時だと感じています。大変ですが、県民の皆さんのいのちや健康に直結する仕事ですので、とてもやりがいがあり、公務員になって本当に良かったと思います。

▼仕事とプライベートの両立

子育て中は、保育園、学童クラブのお世話になり、地域の様々な立場の方と知り合うことができました。多様な価値観や物の見方に触れたことは、

仕事の上でも大きな財産となっています。職場には子育て中の同僚や先輩職員も多かったので、育児の相談に乗ってもらったこともありました。夫婦ともフルタイム勤務で家事も育児も分担してやっていたので、男性職員には「絶対育児休業取りなよ!」と声をかけています。今は子育て支援制度もより充実し、さらに両立しやすい環境になりましたね。一方、忙しい時期でも、娘と共通の趣味であるオーケストラの活動はずっと続けてきました。オンとオフをしっかりと切り替えて、仕事のことを忘れられる時間をもつことがとても重要だと考えています。

▼神奈川県職員を目指す方へ

様々な経験や能力も大切ですが、特別なことではなく「真面目にコツコツやる」といった力も、神奈川県職員として大事な能力の一つです。神奈川県庁には、一人ひとりの個性に応じて必ず力を発揮できる職場や環境があります。また、ライフステージに応じた、様々な支援制度がありますので、長く仕事を続けたい、様々な仕事を通じて成長したい方には、ぴったりの職場です。

ワーク・ライフ・バランス

▼働き方改革の取組

全庁を挙げて長時間労働の削減に取り組むとともに、1人一台のモバイルパソコンの配備を進め、テレワークや時差出勤の制度を拡充し、働く場所と時間を柔軟に選べるようにするなど、職員のワーク・ライフ・バランスを実現しながら、「働きやすく、働きがいのある」職場づくりを進めています。

会計局調達課

山本 あゆみ 主事(R2年入庁)

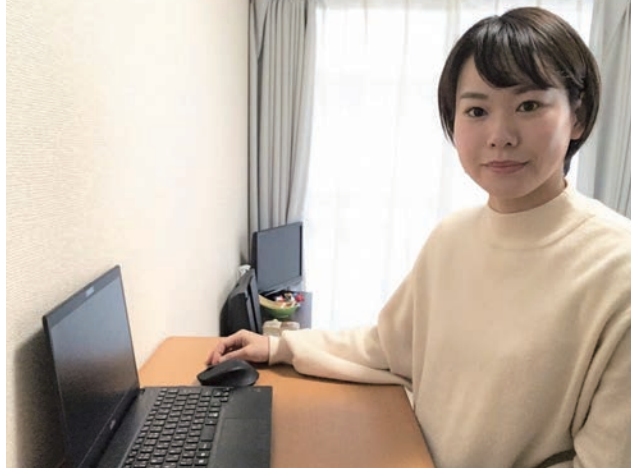
▼在宅等勤務職員の声

私は現在、県の出先機関(県立学校や警察署など)の物品調達に関する業務を行っています。

周りの職員と交代で、在宅勤務を行っており、職員からの問合せ対応や、県ホームページの編集などを行っています。

在宅勤務では、登庁時とは異なり、周りに人がいない状況で仕事をするため、業務に集中して取り組みやすいと感じています。仕事で分からない点があっても、庁内向けのチャット機能を利用し、先輩や上司に気軽に相談することができます。

また、お休みを家事に充てることができたり、通勤時間が削減されたことにより、趣味に使える時間を増やすことができました。



▼モバイルパソコンの活用

県では、働き方改革を支えるICT環境の整備として、職員が効率良く快適に業務を行えるよう、職員一人につき一台のモバイルパソコンの配備を積極的に進めています。

軽量で持ち運びに適し、十分なセキュリティ対策により、職員のテレワークや、出張先でのモバイルワーク、パソコンを持ち寄っての会議等を実現しています。

また、コミュニケーションアプリを用いてのビデオ会議・音声会議など、場所にとらわれない働き方がより柔軟に行えるようになっています。

▼子育て関連制度

職員が安心して子育てができるように、様々な休暇制度を設けるとともに、人事異動に当たり配慮しています。

出産休暇	出産予定日前8週間目(多胎妊娠の場合は前14週目)に当たる日から出産の日後8週間目に当たる日までの期間内において、必要な日数の休暇を取得することができます。
育児休暇	生後1歳6月に達しない子を育てる職員が、1日2回それぞれ60分の休暇を取得できます。
子の看護休暇	義務教育終了前の子を養育する職員が、その子の看護のために1年につき5日(小学校就学前の子の場合は6日、義務教育終了前の子が2人以上の場合は10日)の休暇を取得できます。
育児参加休暇	妻の出産予定日前8週間目(多胎妊娠の場合は前14週目)に当たる日から出産の日後8週間目に当たる日までの期間内において、5日の休暇を取得できます。
育児休業・部分休業	3歳に満たない子を養育する職員は、連続する一期間において休業することができます。また、小学校就学前の子を養育する職員について、1日2時間以内の範囲で認められる部分休業の制度もあります。
特別休暇	上記以外に、妊娠中の女性職員の通勤緩和や、妊産婦の健康診査、妻の出産に伴う休暇などがあります。

※また、子どもが小学校就学までの間、勤務時間を短縮する育児短時間勤務制度もあります。

▼育児休業取得職員の声:男性も取得しやすい職場環境

消費生活課

山崎 聡之 主任主事(H24年入庁) R2.1月~R2.3月育児休業取得

2人目の子どもが産まれた際に、3か月ほどの育児休業を取得しました。1人目の子どもが産まれたときに、子育てに一人で奮闘する妻が、「話ができる大人がそばにただで安心感が全然違う」と辛そうに言っていたことがとても印象に残っていたからです。

休業期間中は、子どもと向き合う時間を十分に確保できただけでなく、妻も私も、自分だけの時間を確保することもできました。

家事・育児ともに妻に頼る部分も少しありましたが、1人目を育てたときよりも妻の笑顔が増え、少しは妻の負担を軽減できたと感じています。

社会的に見れば、男性の育休はまだ一般的とは言えない中で、育休を取得するのは少し勇気が必要でしたが、上司からの丁寧なアドバイスのおかげで、安心して取得することができました。

休業明けに配属された消費生活課では、周囲の同僚に育休を取得した旨を話すと、肯定的な意見を多くもらいます。

男性の育休取得に前向きな風土のある神奈川県では、今後はさらに男性の育休取得者が増加していくのではないのでしょうか。



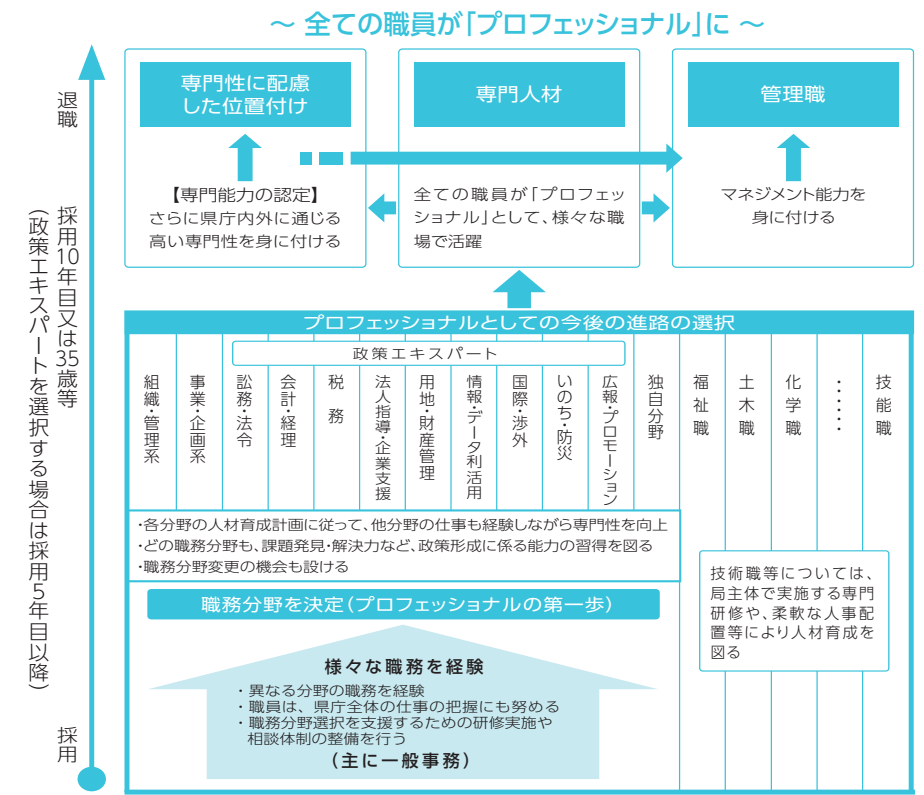
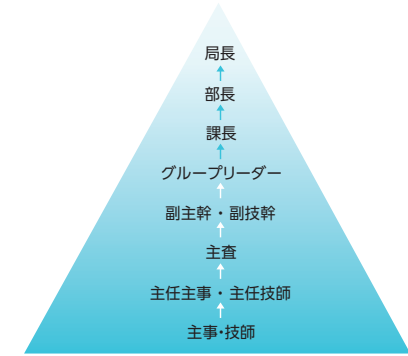
人事制度

▼キャリア選択型人事制度

職員の主体性を重視し、意欲を持って、積極的にキャリア開発に取り組むことができるよう、職員が専門とする職務分野を選択するキャリア選択型人事制度を導入しています。

一人ひとりの職員が専門性と使命感を持つ「プロフェッショナル」として、能力や適性に応じて自らキャリアプランを立て、それに基づき中長期的な視点から、主体性を持ってキャリア開発(能力開発や職務経験)に取り組みます。

▼キャリアステップ (概ね以下ようになります。)



研修制度

職員キャリア開発支援センターで実施する集合研修や各部署が実施する専門研修、職場内研修(いわゆるOJT)など様々な機会を提供し、受講機会を確保することで、職務遂行に必要な知識・技能の向上を図っています。

▼新採用職員研修

神奈川県職員として必要な知識・技能を学ぶ重要な研修であるとともに、同期職員との人間関係を築くための貴重な機会にもなっています。前期集合研修(4月)、後期集合研修(年度後半)等に分けて実施します。

▼選択研修

職員が主体的に学ぶことができる選択制の研修であり、職員として共通に求められる知識・技能などの基礎を固めるための研修や、政策形成能力など高い専門性を磨くための研修などがあります。

▼派遣研修

自治大学校、民間企業及びNPO法人などで、県行政の課題の研究や、県庁以外の組織の取組を体験的に学びます。

勤務条件

▼勤務時間

月曜日～金曜日 8:30～17:15(休憩時間12:00～13:00)

1週間当たりの勤務時間は、38時間45分です。

※これは、一般的な例で、所属や職務によっては変則勤務の場合があります。

▼休暇

1年につき20日(4月1日採用の場合は15日)の年次休暇のほか、療養休暇、慶弔休暇、夏季休暇、介護休暇など。全職種を対象に、子育てに関する各種支援制度が整備されています。

▼初任給(給料+地域手当)

(令和3年1月1日現在)

I種	大卒 (大学院修士課程修了)	約211,000円 (約225,000円)
免許資格職	福祉職(大卒)	約217,000円
	司書A(大卒)、保健師(大卒)	約211,000円
	薬剤師(大卒)、獣医師(大卒)	約232,000円
	栄養士(短大卒)	約194,000円
Ⅲ種	高校卒	約173,000円

(※I種、Ⅲ種には公立小中学校等事務のI種、Ⅲ種も該当します。)
このほか、民間企業のボーナスに相当する期末・勤労手当が支給されます。また、職員の家族状況や勤務形態等により、扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当などが支給されます。

職員提案制度

職員一人ひとりの政策立案能力の向上と職員の斬新なアイデアによる先進的な政策の創造を図るための制度で、職員が自由に課題を設定し、その解決策等を提案することができます。若手職員も積極的に提案しています。
※なお、令和3年3月1日現在、全庁を挙げて新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいるため、本制度は休止しています。

▼知事に直接プレゼン!

一次審査(書類審査)で選定された提案は、提案者自ら知事に直接プレゼンテーションすることができます。

▼知事表彰

二次審査(プレゼンテーション審査)で採択され、その後施策化された提案を行った職員は、知事から表彰されます。



KANAGAWA 2021 DESIGN

